

令和3年度 第1回大阪府河川構造物等審議会 議事概要

日時：令和3年10月6日（水）9:30～11:10

場所：大阪府西大阪治水事務所 1階AB会議室

出席者：渦岡委員（※）・大島委員・久保田委員・山上委員・三村委員 計5名
※会長

まとめ

◇ 諮問

- ・大阪府知事より河川構造物等審議会へ「安治川（此花西部臨海地区）護岸について」諮問。

◇ 安治川（此花西部臨海地区）護岸の現状

- ・護岸の変位計測結果等から、護岸天端の変位が収束傾向にあることを確認。
- ・地盤の圧密状況等を確認するためのボーリング調査及び、安定性評価のための将来変動量予測解析を実施する。
- ・予測解析の実施にあたっては、護岸及び堤防の実挙動にも着目した解析モデルを作成し、解析手法の妥当性を確認したうえで、地盤全体の将来予測を実施する。

主な確認事項、委員意見等（◇：委員、◆：事務局）

◇ 安治川（此花西部臨海地区）護岸の現状

- 安治川護岸補強技術検討委員会（H17～H22）の概要（変位経過、変状要因）
 - ◆事務局より説明（意見なし）

- 現在の取り組み内容（変位計測）

- ◇護岸天端の変位計測結果や孔内傾斜計の計測結果から護岸天端の変位が収束傾向にあることを確認した。計測誤差も含まれているとのことであるため、どれぐらいの誤差があるのかなど数値的なものも示していただきたい。
 - ◆⇒数値的な計測誤差については、別途各委員にご説明させていただく。

- 変位計測を踏まえた対応（安定性等に関する評価）

- 《ボーリング調査》

- ◆地盤の圧密状況等を確認するためのボーリング調査を実施（意見なし）

- 《安定性評価》

- ◇安定性評価のための将来変動量予測解析を実施するにあたっては、これまでの実挙動にも着目して、パラメータのキャリブレーション、フィッティングをし、解析手法の妥当性を確認したうえで実施することで良い。
- ◇将来変動量予測解析では、護岸の変状だけではなく、背後地盤の堤防も含めた全体的な断面の変形モードを確認、理解することが重要。
- ◇兵庫県南部地震の影響や背後地のスーパー堤防盛土、利用などの影響も考えられるため、最大限いろいろな情報を考慮して検討してもらいたい。
 - ◆⇒地盤全体の変形後の情報等を含めて次回ご報告させていただく。